

# NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク

代表者	福岡 晋也
所在地	〒790-0004 愛媛県松山市大街道 1 丁目 3-1 いよぎん南ビル 2 階
設立年月日	2002 年 4 月 1 日
URL	<a href="http://www.asiafilm.info/">http://www.asiafilm.info/</a>

## 【設立趣旨】

本法人は国内外の文化、芸術の取り組みに協力すると共に、地域固有の資源を活用した映像制作支援などを行い、さらにこれをもとにしたまちづくりへの市民自らの参加を促進し、もって文化、芸術の振興、普及及び地域の活性化を図り、公益の増進に寄与することを目的とする。(定款より抜粋)

## 【沿革】

2002年4月：NPO法人アジア・フィルム・ネットワーク設立。設立以降、映画、テレビドラマ、コマーシャルなど様々な作品の撮影支援を実施。2002年7月：「こども映画塾」実施（～現在）。

2003年：愛媛県内の撮影候補地を調査し、2000カ所以上の候補地をデータ化。発信。

2004年1月：「道後いっぺんさん」実施（～現在）。

2005年5月：「道後まちづくり賞受賞」（道後温泉まちづくり推進協議会）

2006年：「ふるしき百景～明日のプロシキ展～」 「こども映画塾～コマーシャル編～」 実施

2007年：「ハンズマートミュージアム」「ダンボールタウン」「職業見聞録」 実施

2009年：「ものがたり海岸～こども映画塾スペシャル編～」 「キャラだち」「星空ミュージアム」 実施

活動の沿革詳細は <http://www.asiafilm.info/> に掲載。



ふるしき百景



ハンズマート

## 【活動目的】

『地域の魅力再発見・再評価』を設立から一貫した活動目的とし、映画・

映像作品の撮影支援を通じた「フィルム・コミッション活動」を通して、県内外へ対し愛媛県の魅力を発信し、老若男女を対象にしたワークショップなどを通して、自分達が暮らす地域の魅力再発見・再評価機会を創出している。

活動を支えるメンバーは25名いて、うち1名が常勤職員である。常勤職員以外は全員が本業を持っており、映像制作者、企画立案、マーケティング、映像技師、SEなど様々な知識と経験をもった会員で構成されている。そして、大学からインターンシップ生を受け入れ、今日も活動に奔走している。



撮影風景

## 【活動内容】

<フィルム・コミッション活動>

愛媛県で撮影を希望する映画・映像制作者へ対し、撮影候補地などを提案し愛媛県での撮影を誘致・支援している。本活動は「えひめフィルム・コミッション（愛媛県観光物産課）」と協働で実施しており、行政とNPOが互いの得意・専門分野で協力している。この結果、映画・映像制作者へは、包括的な撮影情報を迅速に提供できる仕組みを提供し、県民には地域の魅力を再発見・再評価する機会などを実現している。

主な支援実績として「世界の中心で、愛をさけぶ」「ロード88」「恋は五・

七・五！全国高等学校俳句選手権」「HERO(TV版)」「がんばっていきまっしょい(TV版)」「となり町戦争」「K-20怪人二十面相」「イケちゃん」とぼく」「遥かなる絆」など多数。

<地域づくり活動>

フィルム・コミッションで培った知識や経験などを活かし、老若男女を対象としたワークショップなどを実施している。主な内容は下記の通り。

### ○こども映画塾

こども達の豊かな創造力、表現力などの育みを目的にした「物語創作機会」を2002年から定期的に実施。物語はテーマのみを提供し、内容はこども達が自由に創作する。特徴は、「グループで創作する点」「物語は4枚の画像で構成する点」、そして「決定権はこども達にある点」である。グループには「ナビ」という先導役がいるが、ナビはこども達の興味関心の引き出しを引く役目であり、内容や手法への決定権を持っていない。

こども達に決定権を与えることで、グループ内でのコミュニケーションが活性され、創作意欲が高まり、熱心に取り組むこども達の生き生きとした表情が印象的である。今までに県内各地で実施し、岡山県高梁市、福岡県北九州市などからの視察もあり、将来を担うこども達の感性を育む機会として好評を得ている。

### ○道後いっぺんさん

映画・映像作品の撮影を通し、地域の魅力とは観光地・名勝地以外でも「物語性」があれば、十分なり得ることを知った。そんな中、年間90万人が利用する全国でも屈指の集客地「道後温泉本館」から歩いて3分～4分の場所に、昼間でも人通りの少ない寂れた坂道があるのを知った。昭和の雰囲気が残り、坂道の突き当りにはお手があり、実際に映画でも撮影された。実は、ここは昭和32年まで遊郭などがあつた花街で、現在では空き家や空き地が目立ち、風評などで人通りも少なくなってしまった。

しかし、坂道の突き当たりの寺「宝蔵寺」は時宗開祖の一遍上人の生誕地として有名であり、正岡子規なども句を詠んだ。地域の魅力を物語る資源として宝蔵寺を知ってほしいという願いから、「道後いっぺんさん」という青空市を2004年から定期的に開催している。

特徴は、出店者、来場者共に「市民」な点。そして、販売物は「てづくり、非大量生産品、エコ」がキーワードな点。余剰品や骨董品はなく、市民の経験や技能、腕前などが活かせる機会として好評を得ている。2005年道後まちづくり賞受賞。



いっぺんさん

## 【活動上の課題と今後の展望】

歴史的建造物は維持費や多くの協力者によって支えられており、理解と共感が欠かせないことは活動を通して実感している。歴史的建造物の活用、ひいては地域の活性役を担う方にとって、非常にやりがいのある活動ではあるが、常勤職員が1名の現在では活動に幅と奥行きを持たせることに限界を感じている。

この現状を打開するために、「こども映画塾」「道後いっぺんさん」などの自主事業の強化を図り、財政面の強化、協力者の拡大、活動を支えるスタッフの育成を進めている。すでに人材育成については、大学などと協力し、インターンシップ生の受け入れなどを行い、現場での経験を通しNPO活動の魅力を実感いただいている。



ものがたり海岸